

2010年2月5日
株式会社みずほコーポレート銀行
株式会社みずほ銀行

インド国タミル・ナドゥ州産業・貿易促進局との業務協力覚書調印について

株式会社みずほコーポレート銀行(頭取:佐藤康博)と株式会社みずほ銀行(頭取:西堀 利)(以下、両行)は、2月4日にインド国タミル・ナドゥ州産業・貿易促進局(以下、GUIDANCE BUREAU)との間で日系企業進出支援に関する業務協力覚書に調印いたしました。GUIDANCE BUREAU との業務協力覚書締結は、邦銀では初めてとなります。インドにおける同様の覚書締結は、グジャラート州の iNDEXTb(2009年11月)につづき2件目となります。

1. 業務協力覚書の骨子

- (1) 日系企業進出、誘致に関する相互協力
- (2) 中小企業を含む日系企業相談会等の共催
- (3) 日系企業に対するインド側パートナーの選定、諸手続のサポート

2. 覚書締結の狙い

- (1) GUIDANCE BUREAU は、インドのタミル・ナドゥ州政府の主要機関で、産業発展の促進および貿易促進を担っています。また、外国企業の投資申請にかかる受付・相談、許認可申請受付・アドバイス等の役割を担っており、同州への投資を検討する場合の窓口となる州政府機関です。
- (2) 昨今、日系企業のインド進出が拡大する中で、両行は担当州政府機関である GUIDANCE BUREAU との情報交換を通じて、インド(特にタミル・ナドゥ州)に進出を検討する日系企業へ有益な投資情報の提供・サポート体制の充実を図るものです。
- (3) 両行の顧客基盤やグローバルネットワーク、ならびに GUIDANCE BUREAU の専門的なアドバイス、サポート体制等、お互いの強みを活かした相互協力を通じ、日系企業の投資の促進を図ってまいります。

以 上

(参考) タミル・ナドゥ州の概要

タミル・ナドゥ州(州都:チェンナイ)は、チェンナイ港、エンノール港等の大型港湾を有し、自動車・自動車部品をはじめ電子部品、IT、機械等各種産業が発達したインドの南部の州。インドの中でも経済成長の著しい地域の一つであり、充実した産業インフラ、豊富な労働力、東南アジアに近接する地理的な魅力に加え、積極的な外資誘致により、日本のみならず諸外国からの外国直接投資が加速している。今後、工業団地開発や港湾・道路の整備拡張等、さらなるインフラ整備・開発が見込まれている。